

午後の講座		テーマ	学習のねらい	講師・助言者・世話人
講義を中心に、子ども理解を深め学びあう	基礎講座	1	学童保育の役割と指導員の仕事	働く親の切実な要求を原点として発展してきた学童保育の役割と、学童期の子どもの理解、また子どもたちが置かれている状況を踏まえて、指導員の役割と仕事の基本を学びます 講 葉杖健太郎 (兵庫・指導員) 世 伊藤 房枝 (兵庫・指導員)
		2	子ども理解と働きかけ	子どもたちは学童保育に何を求めているのでしょうか。表には出ない子どもの願いや要求をくみとる視点や、指導員の関わり方、大切にしたいことを学びます 講 矢吹 真子 (岡山・指導員) 世 綱島 寿子 (岡山・指導員)
		3	高学年の子どもの理解と生活づくり	高学年にとって学童保育が居場所になるには？高学年がいることで学童保育が一層魅力的になるには？高学年の子ども理解と、高学年を含めた生活づくりについて学びます 講 札内 敏朗 (大阪・指導員) 世 久松 康一 (大阪・指導員)
		4	子どもの発達と安全・健康・衛生	豊かでたくましい育ちを大切にすることをもちながら、ケガ・病気への対処方法や留意点、また安全確保や衛生管理についての基本を学びます 講 亀岡 照子 (元保健師) 世 越村 友里 (石川・指導員)
	理論講座	5	子どもの発達を学ぶ	「発達」の概念をていねいに学び、子どもの発達の道筋と、豊かな発達を保障するための生活づくりについて考えます 講 中村 隆一 (立命館大学) 世 鍋原 千鶴 (広島・指導員)
		6	学童保育における集団づくり	子どもは放課後生活の主人公であり、仲間と育ちあう主体です。「集団づくり」の概念をていねいに学び、学童保育における指導、関わりについて考えます 講 久田 敏彦 (大阪教育大学) 世 松尾 幸子 (鳥取・指導員)
		7	障害のある子ども理解と学童保育の生活づくり	障害のある子、発達障害の子どもをどう理解するかを学び、受け入れ環境の整備や課題、ともに育ちあう生活づくりと指導員の関わり方を学びます 講 三木 和美 (吹田市立こども発達支援センター発達指導員) 世 赤木 和子 (広島・指導員)
		8	こどもにとってあそびとは	「あそび」を十分に保障しきれない実態が広がっています。こどもにとっての「あそび」の大事さを学び、学童保育でどのようにあそび世界を創造していけるのか考えます 講 神谷 栄司 (京都橘大学) 世 森 和弘 (奈良・指導員)
		9	保護者理解と子育て・家族支援	指導員として保護者をどう理解し支援すればいいのか。子育てをめぐる社会背景も視野に入れ、学童保育での具体的な援助の視点と方法を学びます 講 植田 章 (佛教大学) 世 山下 幸江 (奈良・指導員)
		10	職員のチームワーク	豊かな学童保育をつくるには、個々の指導員の専門性の向上とあわせて、指導員のチームワークが重要になります。一致点のつくり方、気をつけることなど、考えあいます 講 重田 博正 (大阪社会医学研究所) 世 阪本 基文 (和歌山・指導員)
実践を豊かにするために、具体的な報告に基づいて深め合う	実践講座	11	学童保育の生活とあそび	あそびが楽しくなり充実するには？あそびを通して仲間の中で育つとは。実践を検討する中で学びます 助 代田盛一郎 (大阪健康福祉短大) 世 越智 寛子 (京都・指導員)
		12	学童保育の生活と集団づくり	一人ひとりが安心して自分を出せる仲間づくりと、共に生活を充実させ高めあう集団づくりを実践報告を通して学びます 助 湯浅 恭正 (大阪市立大学) 世 市川須美子 (兵庫・指導員)
		13	保護者に生活を伝え、考えあう	子どもたちの生活をどのように保護者に伝えるのか、保護者と指導員と一緒に子どもを育てる上で大切なことを考えます 助 中原 康博 (大阪健康福祉短大) 世 長谷川 亮 (京都・指導員)
		14	障害のある子どもも含めた生活づくり	障害のある子どもの理解を深めながら、障害児も参加しやすい学童保育づくりについて実践報告から学びあいます 助 青木 道忠 (大阪発達支援センターぼぼろ) 世 若井 暁 (岡山・指導員)
		15	高学年にとっての学童保育	高学年の子どもたちへの理解を深め、高学年の要求も取り入れた学童保育実践について考えあいます 助 福田 敦志 (大阪教育大) 世 水島 敦子 (大阪・指導員)
		16	子どもを捉える視点と指導の見通し	子ども理解を深め、生活づくりを充実する上で、指導員はどのような視点で計画や総括をし、実践に生かせるか考えます 助 住野 好久 (岡山大学) 世 元女 由美 (石川・指導員)
		17	実践を記録する	子ども理解を深め、実践課題を明らかにするには実践記録と検討が重要です。その際に大切になる視点と方法を学びます 助 中山 芳一 (岡山大学) 世 俣住 智子 (鳥取・指導員)
		18	学童保育と学校の連携	「放課後の多忙化・学校化」が進む中、豊かな放課後生活を保障していくには。学童保育と学校の連携を考えます 助 二宮 衆一 (和歌山大学) 世 川崎みゆき (大阪・指導員)
講座 実技	19	みんなであそぼう	実際のあそびを通して、ルール工夫や内容の発展、子どもひとり一人や集団への関わりなどを学びます 講 兵庫県学童保育指導員会 (兵庫・指導員)	
	20	つくってあそぼう	身近な材料を使った、つくって遊べる工作と、教え方のコツ、あそびを豊かにするための手作りの教材を学びます 講 堺市手づくりあそび研究会 (大阪・指導員)	
講座 特別	21	指導員の仕事を職業として確立する	学童保育の将来像が見えにくい中、指導員の「資格と員数」は国基準が設けられます。指導員の仕事が専門性と継続性を重視される職業として確立するには。総合的な視点で考えます 講 前田 美子 (大阪学保連) 世 中山 洋美 (大阪・指導員)	

